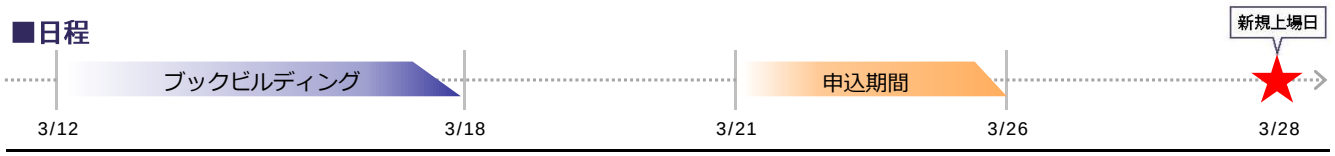
IPO銘柄 トヨコー（341A・グロース）

コード	投資単位	公開株式数	仮条件（上限PER）	主幹事証券
341A	100株	公募：100.00万株 売出：270.00万株（OA55.50万株）	700円～730円 (53.7倍)	SMBC日興証券

■日程



老朽化した建造物の屋根を独自技術で強靭化

■事業内容

3層の樹脂をスプレーコーティングして強靭な屋根に蘇らせる「SOSEI」の施工が主力。老朽化したインフラのサビや塗膜等をレーザーで除去する「CoolLaser」の製造・販売も行う。「SOSEI」は瞬間硬化する特殊な樹脂を老朽化した屋根上に吹き付け補強する工法。「CoolLaser」は高出力サビ取りレーザー施工装置で、これまで工場内部で切断工程や溶接工程に使われていた高出力レーザーをクリーニング用途に応用し、橋梁や鉄塔などの分厚いサビ・塗膜除去を行う事ができる技術となっている。25年3月期第3四半期の売上高構成比はSOSEI事業が79.4％、CoolLaser事業が20.6％。

■特徴

高度経済成長期に造られた多くの工場のスレート屋根は、老朽化に加え近年の大型台風や線状降水帯の発生、ゲリラ豪雨など相次ぐ異常気象により製造に直結する大きな被害が出ており、含有アスベスト飛散による健康被害も懸念されていることから、今後これらの補修ニーズが拡大する事が見込まれる。主として自動車や電機メーカーの工場を修繕してきた実績がある。

アナリストコメント

■定量分析

25年3月期の非連結経常利益は1億6,500万円を計画する。前期実績は1億5,700万円の赤字だった。売上規模の拡大によって収益性も一気に改善する。工場屋根の老朽化問題を背景に中期的な利益成長が期待されている。

■定性分析

IPOで建設セクターは人気化しにくい傾向があるものの、独自技術によるニッチなビジネスを展開しており、投資家の注目を集めている。工場屋根の老朽化問題がテーマ視されれば意外高もありそうだ。

■需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は31億円。グロース市場に上場する銘柄としては荷もたれ感がある。成長性などへの評価がどこまで高まるかに掛かっており、需給面には不透明感も残っている。　（小泉　健太）

■類似企業

トヨコー（341A・グロース）	予想PER 53.7倍 （仮条件上限）
田中建設工業（1450・スタンダード）	予想PER 8.9倍
三晃金属工業（1972・スタンダード）	予想PER 8.3倍

■引受証券

SMBC日興証券、大和証券、みずほ証券、SBI証券、松井証券、マネックス証券

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料に掲載された意見は作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料に掲載された意見・データは、当社が信頼できると判断したデータ等により作成いたしましたが、その正確性、安全性等について保障するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

業績・財務指標

	売上高（百万円）	前年比（%）	経常損益（百万円）	前年比（%）	最終損益（百万円）	前年比（%）	EPS（円）	1株あたり年間配当金(円)
23年3月期(実績)	1,119	—	-117	—	-119	—	-11.9	—
24年3月期(実績)	1,095	—	-157	—	-158	—	-15.3	—
25年3月期(会社予想)	1,891	72.6	165	黒転	161	黒転	13.6	0.00

※23年3月期のみ連結決算
※24年11月に株式分割（1株→5株）を実施。23年3月期および24年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み株式総数(株)	総資産（百万円）	純資産（百万円）	資本金（百万円）	BPS（円）	自己資本比率（%）	自己資本当期純利益率(%)
23年3月期	1,998,720	1,348	-215	100	-21.9	-16.2	—
24年3月期	2,202,520	1,920	328	100	29.8	-17.1	—

※23年3月期および24年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	豊澤　一晃	5,083,025	38.53
2	豊澤　弘康	1,135,000	8.60
3	白井　元	984,410	7.46
4	建装工業(株)	500,000	3.79
5	(株)トヨコー従業員持株会	464,850	3.52
6	大和ハウスグループ共創共生1号投資事業有限責任組合	428,500	3.25
7	鈴与建設(株)	425,500	3.23
8	鈴木　紀行	390,000	2.96
9	[当社従業員]	312,685	2.37
10	前田建設工業(株)	300,000	2.27
10	第一カッター興業(株)	300,000	2.27
10	太平電業(株)	300,000	2.27

経営陣

役職	氏名
代表取締役CEO	豊澤　一晃
取締役CFO	白井　元
取締役COO	鈴木　紀行
社外取締役	藤田　和久
社外取締役	守屋　実
常勤監査役	佐々木　輝
監査役	阿部　洋
監査役	川添　文彬

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料に掲載された意見は作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料に掲載された意見・データは、当社が信頼できると判断したデータ等により作成いたしましたが、その正確性、安全性等について保障するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

ウエルスアドバイザーIPOレポートの読み方

特　徴

ウエルスアドバイザーIPO（※ 1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、ウエルスアドバイザーが位置する中立的な第三者としての立場からIPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※ 2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。ウエルスアドバイザーIPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間などIPO 日程のほか、ウエルスアドバイザーの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1　IPO（Initial Public Offering）：新規株式公開。

※2　ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げてPER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料に掲載された意見は作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料に掲載された意見・データは、当社が信頼できると判断したデータ等により作成いたしましたが、その正確性、安全性等について保障するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザーに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

本資料のご留意事項

・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

・本資料は、ＳＢＩ証券が、ウエルスアドバイザー株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により 異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI 証券WEB サイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。

・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。

・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はＳＢＩ証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券　金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第44号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会